

看護部日記

患者さんや家族に寄り添った看護と後輩育成に努めていきたい

私が所属する9階東病棟は、呼吸器外科・内科の病棟です。主な疾患は肺がん、慢性閉塞性肺疾患、気胸などで、手術を受ける方もいらっしゃいます。抗がん剤治療のために定期的に入院される患者さんも多いので、元気な様子を見られる度に安心し、患者さんの前向きな姿勢に私も元気づけられます。



※写真掲載については、患者さんの了解を得ております

呼吸器の患者さんの症状として、呼吸困難・排痰困難があります。痛みを伴う方も多

いので、薬物療法を中心に排痰の援助などを行います。症状の改善を図っています。これまでに多くの患者さんやご家族との関わりの中で患者さんの希望、ご家族の思いなどを知ることができました。できる限りその思いに応えられるよう、患者さんが安楽に、そして日常生活動作や生活の質が低下しないよう、他職種と連携しながら日々援助しています。

当病棟は年間通して竹田看護専門学校、医師会付属看護高等専修学校、高校生の看護体験を受け入れており、私は実習担当者としてスタッフの協力のもと学生指導に携



総合医療センター9階東病棟

いち はら ゆ き こ
市原 由紀子

わっています。現在の学生の背景は様々ですが、同じ目標

に向かって頑張っています。学生の考えや患者さんに向き合う姿勢は時に新鮮で、良い刺激になっており、改めて気付くことも多々あります。学生が卒業し、新人として配属され成長していく姿を見ると、とても頼もしく嬉しいものです。看護師の仕事はとてもハードですが、それ以上に喜び、やりがいを感じる事ができると思っているので、実習指導を通して学生にも伝えていければと思っています。今後も他職種の方々と連携し、病棟スタッフと共に患者さんや家族に寄り添った看護を目指し、後輩育成にも努めていきたいと思えます。

上司から一言



総合医療センター9階東病棟 課長

みや した ち が こ
宮下 千賀子

市原さんは、平成16年から当科で勤務しています。当初から、実習担当者として看護学生や高校生へ看護の指導に携わっています。「なぜこうするのか」根拠をきちんと伝え、「だからこうする」の実技を、臨床の現場で実際に見本を示し指導をしています。学生からの信頼も厚く、「市原さんのような看護師になりたい」という評価も多く、とても頼もしい指導者です。

これからも、不安の多い患者さんへ安心感を与える看護の提供と、後輩たちへ多くの知識や技術、看護の楽しさを伝えていってほしいと思えます。